

<白金標準、WPIC、メタルズフォーカスも供給不足示唆・・・>



(出所：オアシス)

パウエル FRB 議長の任期が終了し、週末にはケビン・ウォーシュ FRB 議長の就任式が行われている。トランプ大統領は就任式のスピーチを行い「自分のやり方でやるべきだ」と述べている。また FRB 議長候補であったウォラーFRB 理事は、ドイツで講演を行い近い将来の利下げを検討するのは「正気の沙汰ではない」と述べ、FRB が政策声明から「緩和バイアス」を削除し、事実上、利上げの可能性も示すべきとの見解を示している。そのため週末の白金標準先物は、リスク緩和で一時 9949 円まで戻りを見せるも、ウォラーFRB 理事の発言を受け、景気に悪影響をもたらす利下げ観測に再度 9600 円台を試している。しかし 18 日からロンドンで開催されたプラチナウィークでは、15 日の JM 社「PGM マーケットレポート 2026」に続き、18 日に WPIC 第 1 四半期 PGM 需給報告、メタルズフォーカス「PGMs 2026」レポートが発表され、2026 年の JM 社の 9.8 トンの供給不足に続き、WPIC も 9 トンの供給不足、メタルズフォーカスも 9.6 トンの供給不足を予想するなど、3 社ともに 2026 年も供給不足を指摘しており、価値の見直しは今後も続くと思える。ただ目先中東情勢を受けた乱高下に注意は必要であるが、需給から見て 9534 円以下は一時的な価格に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、**シグナル** も切り下げている。RCI では**短期**が下げ止まり、**長期**は切り下げている。特に指数平滑移動平均線のレンジが縮小しており、日足がレンジを上回る値動きは難しくないと思える。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,125,000 円(2026 年 5 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 106,920 円(2026 年 5 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>